

# 人材確保へ知恵

は」と、当の職員からも反対の声が上がった。

実際に使ってみると、作業中に対話する余裕が生まれ、ロボットに抱えられる高齢者からも好評だ。きつい作業が減り、労働環境も目に見えて変わった。森川悦明社長は「人手での介護

# へ護介 される選

▽下

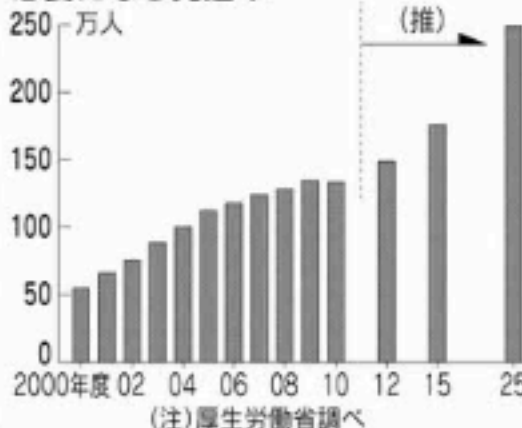
## 高齢者やロボット活用

だけが温かみがあるという日本の考え方を改めるべきだ」と強調する。

肉体的負担が重く、収入も低い介護業界は職を離れる人も多い。介護士の献身

的な仕事ぶりだけに頼っていたら、質のいいサービス

介護職員は高齢化で今後さらに必要になる見込み



水準は維持できず、そのツケは結局利用者に戻る。いかに職員を定着させ、人材を確保するかに各社は知恵を絞る。

「元気な高齢者」を介護人材として派遣するのはか0人で、うち10人が介護施設に派遣されている。

現在の登録者は140人で、うち10人が介護施設に派遣されている。

必要な仕事も担っているのが現状だ。資格が不要な外出のつきそいや部屋の掃除などに、働く意欲のある高齢者をマッチングさせる。「高い技術を持つ職員が専門性のある仕事に専念できる体制を整えば、やりがいも増

え」。新川社長は狙いを語る。外国人を紹介

人手の足りない介護施設が多く、介護職員が資格不要の介護施設が多い。介護職員が資格不要の介護施設が多い。

政府は経済連携協定(EPA)の一環でインドネシアとフィリピンから介護職員を受け入れたが、メデイカは民間の人材紹介サービスを活用する。

フィリピン人職員を介護事業者に紹介するのは鴻池運輸グループの人材会社、キャリア・サービス(大阪市)。

現地のセブ・ドクターズ大学と提携し、日系



オリックス・リビングの有料老人ホームでは高齢者は「リフト」に身を任せてゆっくりと重いすに移る

## 外国人を紹介

人材不足の解消に外国人を活用する例もある。

「上手に折り紙が折れませんでしたね」。メデイカル・ケア・サービスのグループホームで、フィリピン人職員が慣れない日本語で一生懸命、入居者に話しかける。

政府は経済連携協定(EPA)の一環でインドネシアとフィリピンから介護職員を受け入れたが、メデイカは民間の人材紹介サービスを活用する。

フィリピン人職員を介護事業者に紹介するのは鴻池運輸グループの人材会社、キャリア・サービス(大阪市)。

現地のセブ・ドクターズ大学と提携し、日系

外国人を紹介

これまで200人を紹介してきたが、「定着率は95%」(鎌田昭仁社長)と日本人の8割強を大きく上回

顧客の評価も高く、鎌田社長は「今後は年150人を紹介したい」と話す。

厚生労働省の試算では、高齢化で増え続けるニーズを満たすには現在約140万人の介護職員を2025年までに240万〜250万人に増やさなければなら

ない。「介護難民」が発生すれば、「しわ寄せは結局、家族に行く」(かい援隊本部の新川社長)。担い手不足解消に向けた動きは待たな

た。篤田聡志が担当しまし